

防犯ボランティアの結成を！ (警察庁 HP 引用)

安全で安心して暮らせる地域社会を実現するためには、地域住民による防犯の輪を広げることがとても大事です。

これを成功させるポイントは「無理をせず・できることから」です。

●まず、できることからはじめよう・・・！

防犯ボランティアは、はじめから完全なものを求めると**長続きしません**。たとえば、町内でのあいさつ、声かけ運動や散歩、買い物時のパトロール、通学路の立番活動でも犯罪者を寄せ付けない人の目を確保し、犯罪企図者の接近の防止という効果があります。自治会の会合などいろいろな機会を通じ安全は地域住民で作上げるものであること、住民それぞれが主役であることを説明し協力を求めることが大切です。



●自治会や PTA などと連携しましょう・・・！

住民は身近に起こる犯罪をととても不安に思います。また、子どもを持つ親は、子どもが犯罪に巻き込まれはしないかと心配します。同じような不安を持てば、きっと多くの住民が防犯活動に参加してくれるはずです。



●防犯パトロールは、昼と夜の 2 回が効果的です・・・！

パトロールは**夜**に実施というイメージがありますが、実は、昼と夜の 2 回行うことで効果が高まります。ドロボウは昼夜を問わず行動します。また、子どもの**下校時**に昼の防犯パトロールを行えば、子どもを犯罪から守る活動にもなります。



※(彩都西)・午前(登校時)、午後(下校時)からスタートします！

●パトロールは、なるべく目立つ姿で・・・！

防犯パトロールは、ドロボウなどに犯罪の機会を与えないことが最大の目的です。地域住民が力をあわせ、防犯活動を積極的に行っていることをアピールするのが犯罪抑止につながっています。パトロールする時は、蛍光色のジャンパー(反射材付)を着用したり、携帯誘導灯など光を発するもの、拍子木や鈴(ハンドベル)などを携行すると存在感を強く示すことができ、効果があります。



※(彩都西)・帽子・ジャンパー・ベストを貸与します！